

初めのお話をします。

イソップ物語の中にウサギと亀のお話があります。足の速いウサギと足の遅い亀が競走をして、最終的には亀が勝つという話であります。これには幾つかの教訓が含まれています。

例えば、どんなに才能があっても、怠けたり油断したりしてはいけないということであり、また、こつこつと地道に努力することが大切だということもよく言われるところでもあります。

そしてもう一つは、**目的を見失ってはいけない**ということでもあります。どういうことかといえますと、この話の中のウサギは、競走相手である亀を見ていたのであります。それに對しまして、亀は目的であるゴールを見ていました。このことから、何事においても目的に向かって行動をするということの大切さを教えてくれているのであります。

これは、今、皆さんが取り組んでいる速記の学習にも当てはまるのではないかと思います。速記は、**毎日の学習の積み重ね**によって力がついてくるものであります。そのためには、目的を持つということが大切であります。例えば、検定の一級に合格するという目的に向かって、こつこつと努力をしていただきたいと思います。次に、ごみの出し方に関するお話をします。皆さんは、引越をして、ごみの出し方に

戸惑った経験はありませんか。特に分別ごみにつきましては、自治体によってルールが違うことが多いのであります。

その理由は、ごみを焼却する炉の性能が異なるからだと言われています。例えば、大都市のごみ処理施設には火力の強い炉が設置されていることが多いので、ビニールやプラスチックのごみも燃やせる場所があります。一方で、地方の自治体にはそれほどの設備がありませんので、同じプラスチックごみでも、さらに細かく分類しなければいけないところもあります。

そのほか、リサイクルの方法によってもごみの出し方が変わりますので、まずは自分の住んでいる自治体のルールを確認することが大切であります。

ごみの分別ルールを守ることは、私たちの生活や環境を守ることにつながります。反対に、ルールを守らないと、リサイクルできるもので捨ててしまったり、ごみ置き場が汚れてしまったりすることにつながります。

私たちが、ごみを決められた日に正しく分別して出すということは、地球を守る小さな一歩でもあるわけでありです。(丁)

6 級

まず、川についてお話をしたいと思います。

川は楽しい遊び場ですが、危険な場所でもあります。浅く見えていても、急に深くなっていることがあります。

また、流れについても**気をつけ**ましょう。ゆつくりに見えていても、少し深いところでは、流れが速くて足を取られることもあります。雨が降りますと、一気に水量が増えることもあります。

子供だけで川へ行くことはしないで、必ず大人と一緒に行きましょう。楽しい思い出にできるように、みんなで気をつけましょう。

次に、挨拶ということについてお話をしたいと思います。

挨拶は、人と人をつなぐ大切な言葉であります。朝に「おはようございます」、帰るときに「さようなら」と声をかけるだけで、お互いに**気持ち**がよくなります。

元氣な挨拶は、友達を増やしたり、学校や家族の中を明るくしたりします。

恥ずかしくても、まずは自分から挨拶をしてみましょう。それは、笑顔の輪をみんなに広げる大きな力になると思います。

誰でも今日からすぐ始められ、きつとみんなを幸せにできるでしょう。(丁)